

今日の聖書はいきなり「主にある囚人であるわたしは」と出てきます。「囚人!?悪いことしてつかまっちゃったの?」と思った人もいるかもしれませんが大丈夫。ここでは、神様につながっている、という意味です。無理やり捕まえられたのでも、自分でお願いしたのでもなく、神様が私たちを招いてくださりつながったのです。

神様が招いてくださったのですから、それにふさわしく歩みたいのですが、みんながバラバラに歩むのではなく「霊（聖霊）による一致を保つように」と書いてあります。どういうことでしょう…

わたしたちの体は一つですが、目・口・耳・手・足などのほか、外からは見えませんが胃・腸・骨などいろいろな部分があり、見た目や役割が違います。

手は目より大事、とか、足の骨より頭の骨の方が偉い、と考えても意味のないことです。それぞれの役割が違うからこそ、歩いたり食べたり話したり、身体として一つの事ができるのです。

わたしたちは、イエス様の大きな体の一つです。しっかりつながって、同じ一つのいのちに生かされています。

他の人と違うことを、えらい!とか、役に立っていないとかではなく、ひとりひとりが神様から与えられた役割をすることが大切なのです。

そして、教会も一つの体です。日本中に、世界中に教会があります。大きな教会も小さな教会もあります。そしてみんな同じ神様を礼拝しています。だから、たくさんあっても教会は一つなのです。

神様が聖書で教えてくださっていることを守り、教会につながって、お互いを大切に思い合うことが、平和で安心できる生活につながるのだと思います。

神様がわたしたちを招いてくださったことを覚えて、自分も、周りの人のことも大切にできますように…
アーメン🌿

夏休みもあと少し! 体も心も元気に過ごしましょう🌻

早くみんなに会いたいな～

